

2026年3月5日

## News Release

芙蓉総合リース株式会社

(コード番号：8424 東証プライム)

代表取締役社長 織田 寛明

### 廃プラスチックのケミカルリサイクルを新たに開始

#### ～非財務目標「廃プラスチック リサイクル率 100%」達成に向け、再資源化の道筋を確立～

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田 寛明、以下「芙蓉リース」）は、日鉄リサイクル株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 松永 雅雄、以下「日鉄リサイクル」）、株式会社アンカーネットワークサービス（東京都葛飾区、代表取締役 碓 隆司、以下「アンカーネットワークサービス」）とのパートナーシップのもと、ケミカルリサイクル<sup>※1</sup>の取り組み（以下「本取り組み」）を新たに開始しました。

本取り組みは、従来困難とされてきた使用済みプラスチックのリサイクルに真正面から挑み、電子機器のライフサイクル全体を見据えた高度な資源循環モデルの構築を目指すものです。

本取り組みでは、芙蓉リースの連結子会社であり、リース満了物件のリセール事業を中心に展開する株式会社 FGL サーキュラー・ネットワークの八王子テクニカルセンターに返却されたリース物件由来の廃プラスチックを対象とします。同センターにおいて、金属等の不純物が混ざらないよう丁寧に分別された廃プラスチックは、アンカーネットワークサービスの連結子会社である株式会社アンカーリサイクルポートの工場へ搬入され、同社が圧縮・梱包を行います。その後、日鉄リサイクルが廃プラスチックをコークス炉の化学原料として再商品化し、コークス炉において高温で熱分解処理を行うことで、コークスおよび炭化水素油に再生され、新たな資源として生まれ変わります。これにより、廃棄物を「負」から「価値」へ転換する循環が実現します。



芙蓉リースグループは、2022年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、「廃プラスチック（返却物件由来<sup>※2</sup>）のマテリアル/ケミカルリサイクル率：100%」という非財務目標を掲げております。これまでも使用済みプラスチックの有効活用に継続的に取り組んでまいりましたが、本取り組みにより、従来は対応が難しかった領域における再資源化に道筋をつけ、目標の達成に向けて大きな前進を果たしました。

今後もリース事業で培ってきた幅広いネットワークと知見を最大限に活用し、パートナー企業との共創を通じて、今後も資源循環の高度化と脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1 使用済みプラスチックなどの資源を化学分解し、化学原料として再利用するリサイクル方法

※2 FGL サーキュラー・ネットワークが運営する八王子テクニカルセンターに返却されたリース（レンタル）物件由来の廃プラスチックが対象

■日鉄リサイクル株式会社のコメント <https://www.recycle.nipponsteel.com/>

私達は20年以上に渡り、プラスチックのリサイクルを通じて持続可能な社会の実現を目指してきました。本取り組みにおいても、パートナー各社と連携しながら、廃棄物を新たな価値へと転換する資源循環モデルの構築に貢献してまいります。

■株式会社アンカーネットワークサービスのコメント <https://www.anchor-net.co.jp/>

株式会社アンカーネットワークサービスは、本取り組みを通じて、電子機器リユース・リサイクル事業者として果たすべき社会的責任を、さらに進化させることができたと考えております。

当社連結子会社である株式会社アンカーリサイクルポートでは、富士通首都圏リサイクルセンターとしてこれまで培ってきた、手選別・圧縮・梱包の高い処理技術を活かし、廃プラスチックの品質を安定的に確保する体制を整えてまいりました。

今回の取り組みにより、従来は再資源化が難しいとされていた領域に対し、新たな循環の仕組みを提供できることは、当社にとって大きな意義があります。

今後も、両社とのパートナーシップをさらに深め、資源循環の高度化と脱炭素社会の実現に一層貢献してまいります。

以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室（担当）渡邊

電話番号：03（5275）8891 URL：<https://www.fgl.co.jp/>